

特別史跡加曾利貝塚新博物館整備事業に係るワーク ショップとりまとめ

企画会議「わたし×新博物館」

目次

1. ワークショップ開催概要
2. 主なご意見

1

ワークショップ開催概要

ワークショップ開催概要

企画会議「わたし×新博物館」

開催情報

第1回

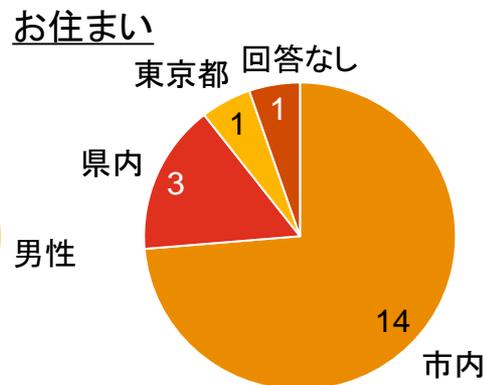
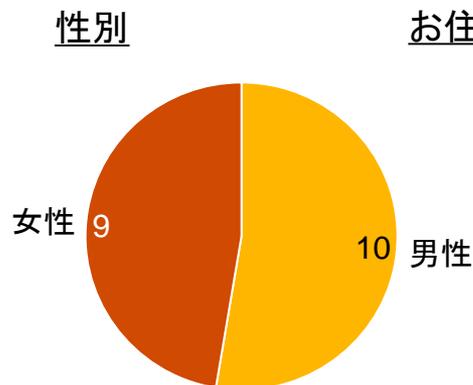
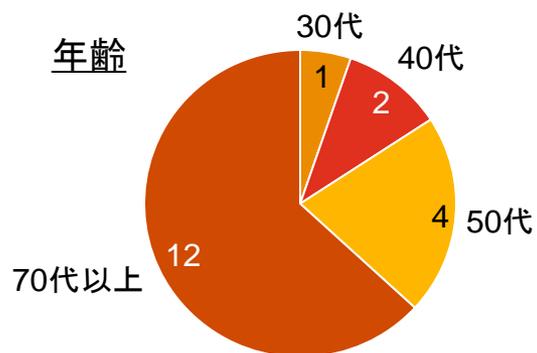
第2回

日時	2022年10月1日(土)14時～16時	2022年10月5日(水)19時～21時
場所	千葉市若葉保健福祉センター 大会議室	Google Meet 上(オンライン開催)
参加者数	23名 (4グループ)	6名 (2グループ)

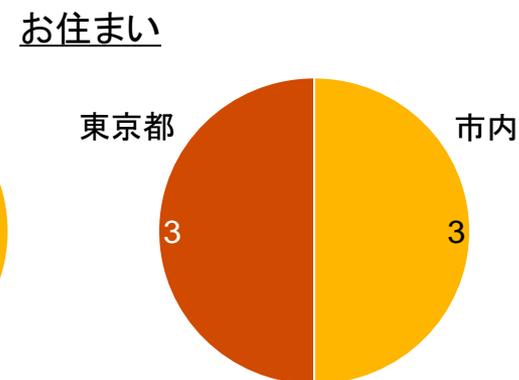
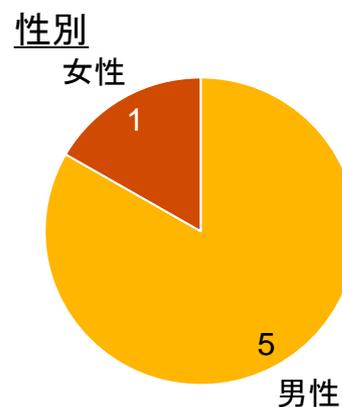
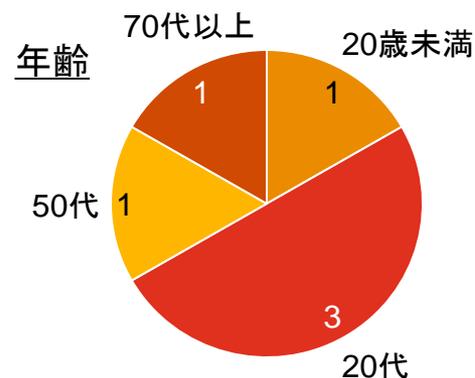
参加者属性

(回答人数 10/1 19人、10/5 5人)

10月1日(土) 千葉市若葉保健福祉センター



10月5日(水) オンライン開催



(注): 当日開催後のアンケートを基に作成しているため、アンケートにご協力いただけなかった参加者は含まれてない。なお、当日開催後に受領したアンケート回答はない。

進行表

項目	No.	内容	時間	備考
1. はじめに	1	・開催の挨拶	5分	
	2	・本日の進め方	3分	本日のスケジュール、本日のWSの進め方
2. アイスブレイク	3	・アイスブレイク	10分	自己紹介を兼ねたアクティビティ
3. 講演	4	・「私の考える新しい博物館」	20分	高橋龍三郎氏(早稲田大学文学学術院教授)
4. ワークショップセッション①	5	・ワークショップセッション①の導入説明	5分	テーマ設定の背景 グループワークの進め方等、概要説明 テーマ①におけるフレーム 事前情報の共有
	6	・グループワーク① テーマ①: 利用者の立場から見た楽しみ方・過ごし方	20分	グループワーク
	7	・アイデアの共有①	10分	
	8	・セッション①のまとめ	2分	
	9	・休憩	5分	
5. ワークショップセッション②	10	・ワークショップセッション②の導入説明	5分	テーマ②におけるフレーム 事前情報の共有
	11	・グループワーク② テーマ②: 新博物館の運営に期待すること	20分	グループワーク
	12	・アイデアの共有②	10分	グループごとの議論内容を全体に共有
6. まとめ	13	・セッション①②のまとめ	2分	
7. おわりに	14	・閉会の挨拶	3分	

グループワークテーマ

基本方針の一つとして、「みんなでつくる・育てる博物館」を掲げており、計画段階から市民の参画を促し、多様な主体が活動しやすい施設づくりについて検討することを目的としてテーマを設定

テーマ①「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

テーマ②「①を実現するために、新博物館の運営者にどのような取組を期待するか」

参加者の意見を「遊び・レジャー/学習・研究体験」とテーマ①「新博物館(館内)/周辺史跡(館外)」、テーマ②「開館前準備期間/開館後」のフレームワークで整理

テーマ①のフレームワーク

	遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)		
周辺・史跡 (館外)		

テーマ②のフレームワーク

	遊び・レジャー	学習・研究体験
開館前 準備期間		
開館後		

2

主な意見

10月1日(土) グループA テーマ①

「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

		遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)	展示	<ul style="list-style-type: none"> 展示を360度どこからでも見られる仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ハンズオン(レプリカ含)の展示 学芸員の案内や解説の充実
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の博物館利用 スタンプラリー 	<ul style="list-style-type: none"> 土器づくり体験 縄文時代の衣類の試着体験
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> トイレやロッカーの充実 	-
周辺・史跡 (館外)	展示	-	-
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> 縄文キャンプ(宿泊体験) 	<ul style="list-style-type: none"> 丸木舟・復元住居づくり体験 発掘作業体験
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験・散歩コースの整備 カフェ・縄文レシピ等の充実 四季の植物・縄文当時の植物の整備 	<ul style="list-style-type: none"> 付近の学校連携

10月1日(土) グループA テーマ②

「①を実現するために、新博物館の運営者に何を期待するか」

	遊び・レジャー	学習・研究体験
受け入れ環境の整備	<ul style="list-style-type: none">市民参加の野外散歩路整備公園内や周辺の案内板整備	-
実施体制の構築	<ul style="list-style-type: none">ボランティアグループの体制強化路線バスや送迎バスの検討	<ul style="list-style-type: none">小中学校の校外学習の場としての活用を兼ねた児童・学生のニーズ調査ガイドのマニュアル整備・充実
体験プログラム等の企画	<ul style="list-style-type: none">縄文をテーマとした市内学校の給食献立植物園、カフェ、トイレ、土器などのアイデア募集	<ul style="list-style-type: none">丸木舟づくり貝塚ゲート
広報・情報発信	<ul style="list-style-type: none">配布物の作成やイベントなどの情報発信千葉テレビなどの取材・放映	-

10月1日(土) グループB テーマ①

「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

		遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)	展示	<ul style="list-style-type: none"> VR利用で当時の様子を見る アート作品なども含めた展示の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 多言語対応や外国人の案内対応の充実 ハンズオン展示
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> 新博物館周辺で1日過ごせるような遊び場やアクティビティの充実 	<ul style="list-style-type: none"> 土器づくり体験の充実
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 利用者用トイレの充実 レストランやカフェの整備 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人も来館するような工夫
周辺・史跡 (館外)	展示	-	-
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> 音楽・演劇などのイベント 子ども向けの縄文の生活体験 縄文キャンプ(宿泊体験) 	<ul style="list-style-type: none"> ホテルやオオムラサキなどの生態観察
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 坂月川の土手整備 	<ul style="list-style-type: none"> 坂月川やビオトープなどの整備 宿泊×防災や他分野との連携

10月1日(土) グループB テーマ②

「①を実現するために、新博物館の運営者に何を期待するか」

	遊び・レジャー	学習・研究体験
受け入れ環境の整備	-	<ul style="list-style-type: none">草刈りなど環境整備
実施体制の構築	<ul style="list-style-type: none">大学生や高校生へのアプローチ	<ul style="list-style-type: none">多言語対応のための研修
体験プログラム等の企画	<ul style="list-style-type: none">アート・音楽・食イベントの開催縄文住居の設営	<ul style="list-style-type: none">縄文テーマ講演会縄文文化・生活体験の充実市内小校の体験学習での使用
広報・情報発信	<ul style="list-style-type: none">イベントの情報発信や刊行物の発行	-

10月1日(土) グループC テーマ①

「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

		遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)	展示	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみながら学習できるコンテンツ 	-
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> あんぎん編み教室や縄文をテーマとしたファッションイベント 子供向けの紙芝居 	-
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 縄文をテーマとしたメニューやグッズの充実 	-
周辺・史跡 (館外)	展示	-	-
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> 謎解きやスタンプラリー 火起こし体験 竪穴住居を用いたグランピング体験 	-
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> どんぐりスイーツやシイの木の盆栽販売 土器を酒器として利用 縄文テーマの公共交通フックアップ 地元企業の協賛・協力 	-

10月1日(土) グループC テーマ②

「①を実現するために、新博物館の運営者に何を期待するか」

	遊び・レジャー	学習・研究体験
受け入れ環境の整備	<ul style="list-style-type: none">ワークショップやボランティアの活動スペースの確保	-
実施体制の構築	-	<ul style="list-style-type: none">ボランティアの育成民間事業者と教育委員会の分担やボランティア・既存団体の体制づくり既存団体以外の参画や活動主体の拡充
体験プログラム等の企画	-	<ul style="list-style-type: none">子どもなども広く参加できるイベントの開催
広報・情報発信	-	<ul style="list-style-type: none">地元への周知

10月1日(土) グループD テーマ①

「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

		遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)	展示	<ul style="list-style-type: none"> かそりーぬと遊べるコンテンツ 子どもも楽しめるVR・デジタルコンテンツ 	<ul style="list-style-type: none"> ハンズオン展示 縄文の生活のVR展示
	体験 プログラム等	-	<ul style="list-style-type: none"> 石器・土器づくり体験 自由研究などの工作 大人の社会科見学ツアー
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> トイレ・飲食施設の整備 お土産などのグッズの充実 	-
周辺・史跡 (館外)	展示	-	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳などバリアフリー化や多言語対応
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> 縄文テーマの遊びや食文化体験 写真撮影スポット・SNSなどの拡散 	<ul style="list-style-type: none"> 火起こし体験
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 子連れでも安全に遊べる整備 水遊びができるような公園整備 公園広場での飲食スペース 自然環境にも配慮しつつゾーニング 	<ul style="list-style-type: none"> 海外からもアクセスできるようなメタバース等のデジタルコンテンツ

10月1日(土) グループD テーマ②

「①を実現するために、新博物館の運営者に何を期待するか」

	遊び・レジャー	学習・研究体験
受け入れ環境の整備	<ul style="list-style-type: none">QRコードで読み込める屋外コンテンツなどの整備	<ul style="list-style-type: none">新博物館と史跡公園の一体的な整備再生可能エネルギーなど持続可能な形での整備
実施体制の構築	-	<ul style="list-style-type: none">既存団体の体制づくり
体験プログラム等の企画	-	<ul style="list-style-type: none">メタバースなどコンテンツ充実・事業者と市民の対話の機会の提供
広報・情報発信	-	-

10月5日(水) グループA テーマ①

「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

		遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)	展示	<ul style="list-style-type: none"> 土器のレプリカ展示 QRコード、パネル解説、キャプション 	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加型の博物館 ボランティアワークショップの周知
	体験 プログラム等	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代の食文化の体験 	<ul style="list-style-type: none"> ジオラマ・VR体験 リサーチや発掘調査の体験
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 眺望のよい(貝塚が見える)場所の整備 	-
周辺・史跡 (館外)	展示	-	-
	体験 プログラム等	-	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代の生活を知ることができる体験
	その他 サービス	<ul style="list-style-type: none"> 新博物館と史跡の一体的な整備 史跡の場所がわかる案内図・遊歩道などの整備 屋外の散策路や展示の充実 坂月川沿いに自然観察エリアなどの整備 	-

10月5日(水) グループA テーマ②

「①を実現するために、新博物館の運営者に何を期待するか」

	遊び・レジャー	学習・研究体験
受け入れ環境の整備	<ul style="list-style-type: none">• わかりやすい展示の充実	-
実施体制の構築	<ul style="list-style-type: none">• 遠足や課外学習の対象地に設定する	<ul style="list-style-type: none">• ボランティアと学芸員間のギャップを埋める体制づくり• レジャー寄りの体験活動と教育活動のバランスをとる
体験プログラム等の企画	<ul style="list-style-type: none">• お土産・グッズ開発• 貝塚の広さを生かした解説ツアー	<ul style="list-style-type: none">• 調査報告会の開催• 企画展の開催
広報・情報発信	<ul style="list-style-type: none">• かそりーぬの認知度向上• 機運醸成・魅力発信活動	-

10月5日(水) グループB テーマ①

「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

		遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)	展示	<ul style="list-style-type: none"> 五感を用いて楽しめるコンテンツやキャプションの工夫 子どもが楽しめる展示・イベント 	<ul style="list-style-type: none"> 文字情報だけでないどんな世代にもわかりやすい展示内容・想像力を働かせてもらえるような説明
	体験 プログラム等	-	<ul style="list-style-type: none"> 縄文人の衣食住の体験
	その他 サービス	-	<ul style="list-style-type: none"> 学芸員との連携 市民・大学生のサポート
周辺・史跡 (館外)	展示	-	<ul style="list-style-type: none"> 五感で楽しめるコンテンツ 春夏秋冬などの四季のテーマ
	体験 プログラム等	-	<ul style="list-style-type: none"> 竪穴式住居の設計体験
	その他 サービス	-	<ul style="list-style-type: none"> 博物館と史跡の一体的整備 現在のボランティア活動の継続

10月5日(水) グループB テーマ②

「①を実現するために、新博物館の運営者に何を期待するか」

	遊び・レジャー	学習・研究体験
受け入れ環境の整備	<ul style="list-style-type: none">案内板やアプリの充実	<ul style="list-style-type: none">時間のかかる展示コンテンツの準備
実施体制の構築	-	<ul style="list-style-type: none">現状把握や課題などの意見収集の機会多言語対応のための体制づくり現ボランティアとの対話による現状把握や課題などの意見収集の機会
体験プログラム等の企画	<ul style="list-style-type: none">QRコードで読み込める屋外コンテンツなどの整備・グッズの充実・ノベルティ配布かそりーぬとの写真撮影	<ul style="list-style-type: none">貝塚の野帳などのグッズ販売発掘調査やGPR調査の結果の活用復元施設や断面展示に対応したVR・ARコンテンツ等刊行物(図録)などの充実
広報・情報発信	-	<ul style="list-style-type: none">多様なチャンネル・多言語対応の情報発信

ワークショップ全体のまとめ テーマ①

「新博物館で、利用者としてどのような楽しみ方・過ごし方がしたいか」

		遊び・レジャー	学習・研究体験
新博物館 (館内)	展示	VR等のデジタルテクノロジーを用いた展示に加え、子供も楽しめる内容を求める声が多い。	実際に手を触れることができる展示への需要が高い。また、多言語・多世代に向けた説明が望まれている。
	体験 プログラム等	縄文時代の衣食住を体験するようなプログラムの需要が高い。	縄文土器づくり体験や発掘体験などへの需要が高い。
	その他 サービス	飲食施設などの整備に加えて、お土産・グッズの販売への需要が高い。	大学生等若い世代に向けたアプローチを求める声が上がっている。
周辺・史跡 (館外)	展示	-	手話通訳・多言語対応等幅広い来場者に応えるための仕組みに加え、四季を活かした展示を求める声が上がっている。
	体験 プログラム等	宿泊体験を含む、縄文時代の生活を体験するようなプログラムの需要が高い。	竪穴式住居の設計体験や船づくり等手を動かす体験への需要が高い。
	その他 サービス	周辺の資源環境整備、子供が遊べる公園や遊歩道整備等への需要が高い。	近隣の学校とのコラボレーションや、他分野との連携を求める声が上がっている。

ワークショップ全体のまとめ テーマ②

「①を実現するために、新博物館の運営者に何を期待するか」

	遊び・レジャー	学習・研究体験
受け入れ環境の整備	案内板整理や展示の充実に加え、ボランティアのワークスペースの確保を求める声が上がっている。	新博物館と史跡公園の一体的な整備に加え、再生可能エネルギーの使用など環境に配慮した整備が望まれる。
実施体制の構築	大学生等を巻き込んだボランティアグループの体制強化を求める声が上がっている。	既存団体以外の参画や活動主体の拡充に加え、意見収集の機会が望まれる。また、多言語対応のための研修があると望ましいとのことである。
体験プログラム等の企画	縄文の文化を体験するイベントの開催に伴い実際の竪穴住居の設営が期待されている。また、かりそーぬとの写真撮影やノベルティ等来場の記念となるようなプログラムの整備も期待される。	発掘調査や地中レーダー調査の結果の活用、復元施設や断面展示に対応したVR・ARコンテンツ等の利用、子供を巻き込んだプログラム作り等多岐にわたる要望が見られる。
広報・情報発信	配布物の作成やイベントなどの情報発信、テレビ放映を通じた認知度の向上が期待される。	地元への周知に加え、多言語・多様なチャネルでの幅広い情報発信が期待される。